

美術研究所報

美術部・情報資料部所員異動

平成元年三月三十一日付で美術部主任研究官田実栄子は停年退官した。
 平成元年四月一日付で情報資料部主任研究官鈴木廣之は美術部主任研究官に配置換となった。

美術部・情報資料部公開学術講座

第二十二回公開学術講座を昭和六十三年十二月十日(土)午後、日本経済新聞社小ホールにおいて左記のとおり開催した。

十一面観音の表現について 井上一稔
 室町・桃山時代の陣羽織と鎧下着 田実栄子

第二十三回公開学術講座を平成元年十二月二日(土)午後、国立西洋美術館講堂において左記のとおり開催した。

雪舟の虚像と実像 ―画家イメージの形成― 島尾 新
 仏伝図表現の変容 ―「釈迦御一代記図絵」について― 関口正之

「日本美術年鑑」の刊行

美術部第二研究室の編集による「日本美術年鑑」昭和六十二・六十三年版(昭和六十一年一月)昭和六十二年十二月の記事)は平成元年三月に刊行され、「日本美術年鑑」平成元年版(昭和六十三年一月)十二月の記事)は平成二年三月に刊行された。

研究会

昭和六十三年度

五月 十八日 中峰明本自賛像をめぐって 井手 誠之輔
 六月二十二日 加藤信清筆阿弥陀三尊像 鈴木廣之

七月 二十日 螺髮宝冠阿弥陀如来像(仮称)について 井上一稔

雪持の文様について 田実栄子

十月 二十日 モチーフについて 総合討議

十一月 十六日 黒田清輝の庭園画について 山梨 絵美子

アメリカ美術史学の動向 島尾 新

三月 十五日 台湾における近代絵画の発達 鶴田 武良

三月二十七日 彭城百川について 招聘研究員 武田 光一

平成元年度

四月 十二日 美術史研究における画像処理の応用へむけて 井手 誠之輔

六月二十一日 水墨の変容 佐藤 道信

七月三十一日 岡山明德寺・滋賀江国寺・西教寺聖観音像をめぐって 井上一稔

九月 六日 京都画壇について 招聘研究員 冷泉 勝彦

十一月 十五日 菩薩表現の規範性 長岡 龍作

十二月 十三日 アメリカにおける日本美術受容 山梨 絵美子